

議会議員と首長の役割整理と 制度理解の促進について

角張 大治



〔質問〕議会制民主主義を支えるには、議会と行政の役割の違いに関する制度理解の普及と、市民への情報提供が不可欠である。近年の投票率低下や政治離れが指摘される中、従来型の啓発では不十分で、二元代表制における議員と首長の役割も十分に理解されていない現状があると考えられる。

そこで、主権者教育の視点を踏まえた選挙啓発の在り方や、有権者が適切な判断基準を持つための情報提供について、市の認識と今後の取り組みを確認する。市民向けの広報や資料

において、議会と行政の役割の違いをどの程度明示しているか伺う。
〔答弁〕市長「市民は議会と行政の役割の違いを理解していると受け止めている。」

〔質問〕市民への周知の必要性の認識を伺う。

〔答弁〕市長「先ほどの答弁と同様。」

〔質問〕投票率向上や選挙啓発を進める上では、議会と行政の役割の違いを市民に明確に伝え、制度理解を深めることが重要である。議会は市の目的や方向性を決め、行政はその実現手段を設計・執行し、議会がその過程と結果を監視・評価する。この役割分担の理解が、有権者の適切な判断や民主主義の基盤につながると考える。議会議員と首

長の役割に対する有権者の理解の重要性について、市の考えを伺う。

〔答弁〕市長「市民・有権者は、議会議員と首長の役割を理解していると受け止めている。」

〔質問〕学校教育や社会教育との連携により、二元代表制の理解、政治的リテラシー向上につながる取り組みを検討できないか伺う。

〔答弁〕教育長「二元代表制の理解や政治的リテラシーの向上は民主主義を支える上で重要である。学校教育では学習指導要領に基づき、議会制民主主義や地方自治、選挙制度について体系的に指導しており、適切に行われていると認識している。一方、社会教育については、市民の主体的な学びを尊重し、環境整備に努めていきたい。」

本市の孤独・孤立死対策について

佐藤 龍彦



〔質問〕孤独・孤立死に対する認識を伺う。

〔答弁〕長寿課長「孤独死、孤立死については、全国的にも医学的・統計的な統一定義が定まっておらず、警察や医療機関、福祉部門など、それぞれの現場での判断や事例把握に基づいているのが実情である。本市においてもこうした状況を踏まえ、統一した基準で公式統計として整理公表できる段階には至っていない。今後の孤独・孤立対策を検討していく上で極めて重要であると認識しており、どのような定義と指標に基づいて実態を把握していくのか、今後、庁内

関係部署とも連携しながら検討していきたい。

〔質問〕本市は孤立防止のため、どのような支援を実施しているのか伺う。

〔答弁〕長寿課長「孤立防止の問題は、高齢者のみならず、生活困窮者、子育て世代、子どもなど横断的に各分野に関わる問題であり、庁内各部署と連携しながらそれぞれのライフステージに応じた支援を実施している。それを通じて孤立の未然防止と早期発見ができる体制の充実に図っていきたい。」

〔質問〕今後の孤独・孤立死のリスク軽減に向けた取り組みについて伺う。

〔答弁〕市長「高齢化率の上昇や高齢者・単身世帯の増加を踏まえ、孤

独・孤立死は重要な課題であると認識している。特に必要な高齢者の孤独・孤立への対応について「白石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の施策目標「生きがいづくりと社会参加、地域での支え合いの促進」において「地域での支え合いの促進」を掲げており、「地域コミュニティによる生活支援」による高齢者の見守りや「生活支援体制整備事業」における地域内の交流など、孤独と孤立といった状況をつくらないための取り組みを行なっている。引き続き、孤独・孤立死のリスク軽減と未然防止に向けた取り組みを着実に進めていきたい。

その他の質問

◎国民健康保険税の子ども均等割軽減について